



同志社女子中・高生「花の日」訪問 (6月13日) 総合児童棟玄関にて 後、弥栄の郷へ (右下)

感謝

水上の友

発行 社会福祉法人
大阪水上隣保館
 〒618-0001
 大阪府三島郡島本町
 山崎5丁目3-18
 発行人 黒川 芳 朝
 編集 広報委員会
 法人事務局 075-961-0711
 F A X 075-961-1144
<http://www.osakasuijyorinpokan.com/>
 印刷所 (有)木村桂文社

天性の仕事に出会いました

遙学園卒園生 木本 明子
(旧姓 森川)

中学校を卒業して直ぐにアメリカ力の牧師さんの養女となってハワイに渡った妹が、今年六月、十九年ぶりに帰国し、大阪水上隣保館で「同窓会」をしました。当時の先生方も集まって下さり、思い出話に時を忘れこれまでにない幸せな時間を過ごしました。

私たち三人兄妹は、兄が二歳、私は一歳、母のお腹にいた妹は生まれて直ぐに乳児院に預けられました。未婚で私たちを生んだ母親は、精神を病み、子連れで線路の真ん中に佇んでいた。そして、親戚の方が児童相談所に相談して入所することになったそうです。

幼児のころは、親のことは一切聞かされていませんでした。小学校三年生の秋、母が入院先から面会に来てくれました。薬の副作用のためか、ぼーっとして「この人がお母さん？」とシヨックでした。でも、毎回、病院から電車に乗って、汗を一杯かきながら隣保館の坂を上り面会に来てくれる姿

二〇一四年標語
 人にしてもらいたいと思うことは何でも、
 あなたがたも人にしなさい
 —新約聖書・マタイによる福音書 七章一二節—

を見ていたうちに、甘えることよりも母の身体が心配になってきて、大きくなったら私が助けてあげなければと気遣っていました。けれど、母はその後も病院から出ることなく亡くなり、お骨だけが手元に残されています。

隣保館では、できるだけ家庭に近い環境をとという方針で各ホームには父親役の指導員、母親代わりの保育士さんが寝泊まりされ、献身的に世話をして下さいました。特に先生の膝は、本を読んでもらう時など大変心地よい場所だったことを覚えていきます。

でも、幼稚園の頃から「何か違う」と感じました。「良い子」を演じながらも、自分だけの本当のお父さんお母さんが欲しい…。自分一人だけ見て欲しいとの思いでした。この独占欲は、卒園するまで私の心の奥を支配する深い悲しみでした。他の子どもたちも皆同じだったと思います。

隣保館では十八歳まで暮らし、高校卒業後、一人で生活を始めました。集団生活しか知らない私は、一人で過ごす時間が苦手で、いじめられたり、恥ずかしい思いをしたり、苦労したこともあって、何度、隣保館に帰りたいと思っただけでしょう。

その後、結婚、出産、離婚を経験しました。幼い子どもを抱え、生活のために職業訓練でヘルパー2級の資格を

とり、病院で働き始めました。そこで高齢者介護の仕事に出会い、介護福祉士の資格も取って、今、私は神戸の介護付有料老人ホームのホーム長をさせて頂いています。

子どもと大人の違いはあっても、施設育ちの私には、そこに暮らす人たちの辛い思いが理解できます。隣保館での体験がこんなに役に立つ仕事はない、天性の仕事に出会ったと喜びすら感じます。中村遙・八重子先生を目標に、誰もが安らげるホームづくりを目指してこれからも奮闘していきます。
 (一九八五年度卒園)

暑中御見舞い申し上げます

平和を実現する人々は、幸いである、
 その人たちは神の子と呼ばれる。
 —新約聖書・マタイによる福音書 五章九節—

剣を取る者は皆、
 剣で滅びる。
 —新約聖書・マタイによる福音書 二六章五節—

イエス・キリストは徹底した非暴力と救済、愛の実践と和解による真の平和の実現の生涯を歩きました。日本八月がまたやってきました。日本人にとって何よりも「戦争と平和」を考へる時です。沢山の貴い犠牲の上に、「もう二度と戦争はしないこととを改めて心に刻みたいと思います。暑さ厳しき折柄、皆様のご健勝を心よりお祈り致します。

二〇一四年 盛夏
 社会福祉法人 大阪水上隣保館



カット絵・小六 れん

遙学園 大二 女子

私は大学二年生で、もうすぐ二十歳になります。遙学園での生活は二十歳までとなっているので、退所する時期が近づいてきました。

高校二年生の時からコンビニでアルバイトをしていて、今後の一人暮らしに備えてお金を貯めるのに頑張っています。

大学では、授業以外に遅い時間まで将来のための司法書士資格を取得するための講座を受けています。

日常生活では、自炊の練習などもしていますが、実際ご飯はホームの先生に用意してもらおうことが多いので、本当に有難いなと感じています。

新しい住居は大学の近くであれば交通の便は良いのですが、遙学園から離れるので悩んだ結果、山崎の周辺で生活することに決めました。もちろん一人でこなさないとけないことばかりですが、何かあった時に遙学園の近くにいることが励みになると思います。

一人暮らしをすることに不安がいっぱいですが、頑張って乗り越えていきます。

夢は中学校の先生

遙学園 高一 男子

僕は二歳の時から遙学園にいます。生活は自分のやるべきことが多く、友達との付き合いも大変でしんどい時もありましたが、先生や友達は僕のいろんな悩みの相談にのってくれました。その時は本当に嬉しかったです。

遙学園において親と一緒に暮らすことの大切さもわかりました。

僕の夢は中学校の先生になることです。島本第二中学校の先生は、遙学園の子どもたちに特別扱いをせず、一人の生徒として真剣に向き合ってくれました。

その姿をみて僕は先生になりたいと思いました。

これからは支えてもらった人たちに感謝しながら頑張りたいと思います。

自分とドラム

ひびき 中二 男子

僕がドラムを好きになったきっかけは、前の施設にいた小学一年生の時に棒で人をたたいたりした時でした。先生に「こっちこい」と連れて行かれ、ドラムをたたくように言われました。でもおもしろくなかったので続きませんでした。

しばらくしてから、バンドチームを

作りましたがその時からドラムが好きになってきて、毎日三時間から四時間くらい練習をしたら、自然にできるようになった。

その施設を出る時、先生の大切なドラムのスティックをもらいました。

そのスティックは僕の一生の宝物で今も大切に使っています。そして大事に引き出しの中に入れていきます。

ドラムにであえてよかったなと思います。

ほぐのなごねじゅ

ひびき 小三 男子

これからぼくががんばることは、せいかつをちゃんとして、先生の言ったことはちゃんと聞き、イライラしたときは、ものにあたらずにはなしをきいてもらうか、クールダウンするか、べっしつにいておちついてがっこうせいかつをがんばっていく。



遙学園折り紙教室作品



龍司との思い出、読ませて頂きました。皆が家族・兄弟・友達と書かれた鈴木様・龍司様の根っ子にある隣保館の愛を感じます。

高槻市 高木美紗・誓子

親友の死という辛い悲しい出来事でしたが、最後まで寄り添いみんなをこめて送られたすばらしい思い出を讀ませて頂き胸が一杯になりました。

大阪市 渡口差知子

NHK大河ドラマ「八重の桜」欠かさず拝見しました。貴館に縁深い新島襄・八重と中村遙・八重子先生が天国と祝福賜れますことを祈らせて頂いた一年間でした。

鎌倉市 篠崎八重子

北條正治先生の今迄のご奉仕に感謝致します。隣保館の働きが中村遙先生の志をついでこの地で益々発展してゆきますよう祈っています。

愛媛県 宇都宮樫子

計 報

森 照子さん (二〇一三年十二月二日召天)
元遙学園保育士

猜本博秋さん (一月三十日召天)
遙学園卒園生

平井武志さん (四月二十五日召天)
株京宣社代表取締役
遙学園卒園生

御霊の上に神様の祝福が豊かにありますように心よりお祈り致します。

遙 学 園

あけぼのホーム開設

二〇一四年四月一日、枚方市招堤に「遙学園あけぼのホーム」が誕生しました。分園型の小規模グループケア施設で、京阪牧野駅から約3kmほどのところにあります。

マンションの二部屋を借り、定員八名の施設というよりも家庭に近い雰囲気、気のあるホームとなっています。開設したばかりのため、現在は小学生四名の子どもたちが生活しています。

少人数なので、生活のルールや食事の献立などについても子どもたちの意見をとり入れ、生活がしやすいように工夫しています。

また職員との距離もグッと近く、より丁寧な関わりもでき、一人ひとりの子どもに合わせた対応が多くできるようになりました。

子どもたちは、時には甘えを出し過ぎてしまうこともあります。今までできない環境だったのだなと思い、物事の善悪だけは伝えながらも「できるだけ気持ちを受け止めてあげたい」と考えています。「このホームなら、ほ」というあけぼのホームの特色を活かして「育ちなおし」に励んでいきたいと思えます。

子どもたちも「小学校の代休の日に皆で行きたかったいちご狩りに行けた

ことが嬉しかった」「生活のルールはちょっとくらいなら融通を利かしてくれて、それが自分にとって嬉しい」「皆でゲームをしたり、公園で遊んだりできるので楽しい」と言ってくれています。

子どもたちの要望や気持ちに寄り添うことは精神的にも体力的にも大変ですが、様々な家庭の事情により施設入所となった子どもたちです。あけぼのホームで大人との愛着関係を構築しながら、将来に対して自信と希望を持てるようになればと願って一つひとつ丁寧に関わろうと思っています。

慣れない土地での生活ですが、子どもたちも頑張っていますので私たちも安心して生活ができるように、地域の方々のご協力も得ながら共に頑張っていきたいと思っています。

(児童指導員 井上貴博)



ただいま！（マンションの玄関）

児童心理治療施設

ひびき

保育園のボランティア

自分の人生のなかで、小さい子どもたちと遊ぶということは初めてのことで不安だった。

今日はいきなり園庭で子どもたちと遊ぶということになって、最初はどちらが良いのか分からなかった。

けれど、子どもとの接し方も分からなかったけれど、子ども目の線の高さに合わせると、自分なりに工夫して接することができた。

男の子と女の子では距離感が違っても戸惑ったが、自分なりに楽しんでできたなら良いなと思った。

(高三 男子)

施設長に就任して

大阪水上隣保館歴二十年目、遙学園指導員として着任し、ひびき開設とともに移ったのがついこの間のように感じられます。

ひびきは、心理面に困難や苦しみを抱え、生きづらさを感じている子どもに対し、集団生活を通して支援することを目的とする施設です。生活支援、心理治療、医療、学校教育が専門的に、

そして総合的に支援を行なっています。実は、好んでひびきでの生活を始める子は一人としていません。そんな子どもたちが元気に意欲的に過ごす大人たちと交わり続けた結果、心身ともに健康に成長し、ある時期をひびきで過ごし、良くなったと思えるようになる、そんな施設づくりに励みます。

子どもたちは、紆余曲折ありながらも、直ぐに大人になっていきます。先日、かつてのやんちゃ君がやって来て「最近の若いモンは叱ればすぐ仕事辞めるし、優しくすると調子乗るし：しゃーないから我慢して粘り強く話しかけてるねん」とぼやき、「あれっ！それって先生が俺にしたことやん」と自らつつこんでいました。

元々、子どもからの有難いご褒美、ホント職員冥利につきます。

(施設長 山崎 深)



元気に遊ぶ子どもたち

乳 児 院

♡ すり這い

みんなより少し体の大きいM君。目の前の玩具に一生懸命手を伸ばしています。そーっと見守っていると少しだけ前に進めました。凄いねーっと喜んで保育士を見ててもゆっくりですが少しだけ前に進めました。この日にすの這いのコツをつかめました。

(保育士 浦上摂子)



もうちょっと！ズリズリズリ！

♡ 合羽の魔法使い

雨の中乳児院の前を通ろうとすると、目の前に小さな魔法使いが立っています。よく見ると初めて合羽を着て少し緊張気味なH君です。声を掛けると少し上を向いてこちらを見てくれたのですが、合羽の帽子が目にかかりました。ハリーポッター出現！と思ったら、目にかかった帽子を手で払いのけたので雨のしずくでぬれてしまいました。

(保育士 石阪博子)

♡ 一日のおわりは…三十秒

朝から晩まで笑って怒って一日中楽しく過ごしているAちゃん。夜、布団に入ってから大人を遊び相手にしたくて大暴れ。でも寝ると決めたら力を使い果たしたかのように、三十秒ぐらいで、「テン」と寝てしまふ可愛いAちゃんです。

(保育士 社真由美)

♡ おばちゃん

一才八か月のR君、最近大人の名前を大きな声で呼んでお話しするのが大好きです。担当保育士に向かって満面の笑みで呼んでくれます。「ほーじょーちゃん」あれ？よく聞いてみると「おばちゃん」に聞こえます。でも呼んでいる彼はとびっきりの笑顔なのでオールオッケーです。

(保育士 北條敦子)

♡ ねんね、パンダ

パンダさんのTシャツを着てお散歩中のKくん。幼稚園のパンダの看板を見て「パンダいっしょ」と喜んで見つけて「パンダねんね」「パンダ起きて」と声を掛けていました。次の日、掲示板を通り過ぎた後「パンダは？」といっつも一度掲示板に戻りました。「パンダねんね」。ほんとだねえと大人が声を掛けると「お布団はあ？」とパンダに聞いていました。

(保育士 深田優美)

特別養護老人ホーム

弥 栄 の 郷

一〇一歳のスミエさん

スミエさんは、一九一三年三月が公的な誕生日でした。でも本当は、一九一二年八月で、昔は都合が良いときに出生届を出したから、とご本人は言っています。本当だそうです。昨年九月二十六日に一〇〇歳の長寿のお祝いを町長さんから受け取ったときも、私は一〇一歳になっているとききりにお話しされました。

弥栄の郷に入所されたのは三年前の四月で、西側のバルコニーをつくって間もなくでした。バルコニーでお茶を飲みながら、ここ山崎の昔話に花が咲きました。まだ弥栄の郷前の大きな道路はなく、線路沿いのお墓から里道を登って、夫が八重子先生主催の俳句の会に参加していたこと、八百屋をしていたので小学生の息子も手伝い、天枰棒を担いで隣保館に野菜を納めていた等々。

また、今はサントリーのウイスキー蒸溜所になっている所に水の湧き出る沼があったことや、大阪染工側には、子どもは近づいたらアカン！引き込まれる「カップ沼」と言う大きな沼があったこと。国鉄の地下道には蜜が毎年出ていて涼みに行ったとか…。

でも段々と視力が弱くなっていきま



2013年9月 町長から長寿のお祝い

した。人物の認識が困難にもかかわらず趣味の折り紙やクラブ活動のあそび絵(ちぎり絵)に参加されていました。下肢筋力のリハビリにも積極的に取り組み、廊下の手すりを持って屈伸運動。「スミエさん！お早う」と声を掛け「田さんか」とにっこり。「オロナミンC飲みや」と気を遣い、必ずいつも職員へ「ありがとう」と感謝の言葉を言われます。オロナミンCはスミエさんの元気の素です。この五月に逝かれる三日前にも飲まれ、それが最期の飲み物でした。私たちはスミエさんの介護をしていましたが、逆にスミエさんの優しい言葉と笑顔にどれだけ癒されたことでしょうか。ご冥福をお祈りいたします。

(介護職員 松田春子)

山崎保育園



ジャムつくり挑戦！

今回の五歳児の年齢別活動は、園で収穫したさくらんぼを使ったジャム作りです。五月上旬、さくらんぼが赤く熟し『すぐに食べたい！』気持ちを我慢し収穫しました。

エプロン姿でヘタと種を取り除きました。最初は力が入りすぎ潰れてしまいましたが『真ん中をグツと押ししたら種だけ出てくる』とコツを見つけたらその後は上手にできました。

砂糖を加えてじっくり煮込みながら一人ずつ丁寧に混ぜ『おいしくなれおいしくなれ』と笑顔いっぱい調理しました。このジャムはお泊り保育のときにかき氷の上に乗せて食べる予定で、みんなとても楽しみにしています。

(保育士 並河和樹)

藤の里保育園



春を探しに

幼児クラスはお弁当を持って、高槻城跡の交通公園までお散歩に行きました。大きなタコすべり台、アスレチックなどワクワクする遊具で遊んだり、池の周りを散策し、お花や蝶々などたくさんのお春を見つけました。

また、縦割りのグループで三連フープを楽しみました。三つに繋がったフープに一人ずつ入り走るゲームです。息が合っていないと転んだり、トーナメント戦でどのグループも「負けないぞ」と白熱した戦いになりました。

約一・五kmの帰り道、一番小さな年少さんはいっぱい遊んで足元がフラフラです。一生懸命に手を引いてあげる年長さんたちがとても頼もしくみえます。

(保育士 中島悠子)

山崎幼稚園



この花のようになりますように...

各家庭から花を持ち寄り、キリスト教行事の花の日礼拝を守りました。

花束で顔が半分隠れながらも、どの子も花に負けない位のキラキラと輝く笑顔で登園してきました。担任が花を受け取り花瓶に活けていくと「お花屋さんみたい」と部屋にたくさんのお花が飾られた喜びを表現していました。

学年毎に集い「道端に咲く小さな花を愛するように私たちが愛してください」の神様に感謝の礼拝を守った後、年長児が代表して、日ごろお世話になっている消防署、郵便局、診療所、法人事務局等に讃美歌『この花の様に美しい心を神様ください小さな私にも』のかわいい歌声とともに花を届けました。

(主事 佐古博子)

大阪保育福祉専門学校



卒業生それぞれの一步

今春もたくさんの学生が現場へと巣立ちました。例年なら就職全体の六割近くを占める保育所が今年には四割強に。結果、半数以上の学生が府内の乳児院や児童養護施設、障害児者施設に就職していききました。

中には、母子生活支援施設の相談員や障害者就労移行支援事業所のスタッフになった学生もいます。さらには、遠方の横浜リハビリテーション事業団や、歴史ある秋津療育園での採用を決めてきた学生など、施設保育士の養成を目的に創設された本校ならではの花が咲いたように思います。学生一人ひとりの思い、歩んできた道のりを大切に、養成に携わっていかねばと考えています。

(副校長 植田彌生)

在宅養育支援センター
みゆき園



一歩ずつ歩いていきます

七月から、これまでの事業に加え、障がい児対象の療育支援が中村記念館一階北側を改装して始まります。新しい施設には、ボールプール等々体を使った遊びや療育支援が可能な七十二㎡のプレイルーム、心地よい音楽や匂いで静かに過ごす時間を楽しむ部屋、車椅子の方が安心して使用できる広いトイレ等があります。

また、スタッフも作業療法士や保育士を含めて十九名で始まり、三歳児からの利用が可能となります。この遊具でどのように遊ぶのだろう…子どもたちの笑顔を想像すると実に楽しみです。ね。これからも一歩ずつ、笑顔を見るための活動をしていきます。

(センター長 中川修二)

ファミリーポートサプリ村野



お父さんと遊ぼう！

五月末の土曜日、四ヶ月から四歳までの子どもたちとお父さん十六組がサプリの広場に集結しました。中には、兄弟を連れただお父さんもいました。みんな抱っここの仕方でも手慣れた様子で、一つの大きな輪になって一時間たっぷりといれあい遊びや体を使った遊びを楽しみ、いつもの広場にお父さんたちの低い歌声が響いて、なんとも不思議でほほえましい時間でした。

このイベントは「お母さんはお留守番」がルールです。いつも子育てに忙しいお母さんに、ゆったりとした「時間」とお父さん手作りのメッセージボードをプレゼントしました。喜んでもらえたかな？

(センター長 山下裕美)

ファミリーポートはるか



楽しい手づくりおもちゃ

月に一度、お母さん方と相談し、手づくりのおもちゃの講習会を開催しています。保護者にとっては情報や困り事などのおしゃべりをする交流の場にもなっています。

少し離れたところで遊ぶ我が子のことになりつつも制作を楽しんでおられます。簡単にできると思っていたおもちゃでも、いざ作ってみると想像していた以上に難しいです。時間もかかります。でも、でき上がったおもしろい作品も、その方らしい素晴らしいおもちやに仕上がりました。子育てにもおもちやの手づくりにも、多くの共通点があるようで、これからも楽しく続けていきたいと思っています。

(スタッフ 久保田啓子)

山崎保育園
地域子育て支援センター



親子リトミック

センターでは、年に数回いろんなイベントを開催しています。今回は、親子リトミックを企画しました。地域の未就園の親子さんが対象で、講師には昨年未まで山崎保育園の職員だった稲村先生に来ていただきました。

リトミックは音楽に合わせて体を動かす活動ですが、初めは緊張していた子どもたちも先生のやさしい声かけとすてきなピアノの音でのびのびと楽しんでいました。

魔法のステッキで動物に変身したり、大きな芋虫になったりして親子ともに笑顔がいっぱいでした。今後も親子で楽しめるイベントを企画していきたいと思っています。

(センター長 石川美紀)

社会福祉法人 大阪水上隣保館 [児童福祉 84年]

大阪保育福祉専門学校

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-10 TEL.075-962-1115 FAX.075-962-9001

お問い合わせ・
お申し込みは



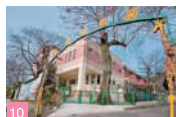
▶お電話で
0120-919-294

クイック フクシ

▶メールで **pub@o-hosen.ac.jp**

ケータイからもOK!

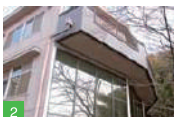
▶QRコードで
ケータイサイトから



10 山崎幼稚園



1 専門学校・本館



2 専門学校・オリーブ館



3 専門学校・中村記念館
みゆき園分室(1F)



4 児童養護施設 遼学園



5 児童心理治療施設 ひびき



11 山崎保育園



ばんだのいえ (島本町)



12 みゆき園



13 さくら館



藤の里保育園 (高槻市)

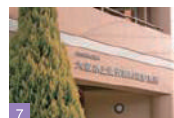


ファミリーポート
たかつき (高槻市)

ファミリーポート
はるか (高槻市)



大阪水上隣保館乳児院



大阪水上隣保館附属診療所



地域交流センター・ゆりの礼拝堂



特別養護老人ホーム 弥栄の郷



子ども家庭支援センター・
ファミリーポートひらかた(枚方市)



ファミリーポート サブリ村野
(枚方市)

豊かな自然環境の中でキリスト教の愛の精神に基づいた人格形成をします

山 崎 幼 稚 園

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-1 TEL.075-961-3341 FAX.075-961-7296
ホームページ <http://www2.yamazaki-k.e>